

# 基本政策 1 誰もが幸せを感じるまち【福祉健康】の修正について

資料 1

委員からの意見	事務局の考え方
<p>【意見①】 「誰もが幸せを感じるまち」という文言があらゆることを包含するものと捉えられるが、内容としては福祉健康分野についての政策となっている。そのため、「誰もが幸せを感じるまち」という項目名と内容が直接つながらないものとする。</p>	<p>【基本政策 1 の内容を修正①】 頂いた御意見を踏まえ、基本政策 1 が福祉健康分野についての政策だと分かりやすくなるよう、基本政策の名称の冒頭に「みんなに優しく」を加え、共に支え合う福祉の色合いを強める形で修正したいと考えております。</p>
<p>【意見②】 説明本文について、2 段落目の「健康で安心して暮らすことができるよう、地域で互いに協力して支え合うための仕組みづくりを推進します。」との記載があるが、地域で互いに協力して支え合うための仕組みづくりが、健康で安心した暮らしに直接つながるものではないとする。</p>	<p>【基本政策 1 の内容を修正②】 頂いた御意見を踏まえ、第 2 段落の文章は、施策領域の「地域福祉」のみの説明文としたいことから、「において健康」という文言を削除したいと考えております。 また、施策領域の「健康づくり・保健衛生」の説明については、第 4 段落の取組の目的を説明する部分に「いきいきと」を加え、「それぞれに適した支援の充実」の中に、当該施策領域の説明を含ませたいと考えております。</p>
<p>【意見③】 また、4 段落目の「その人らしく」との文言は「自分らしく」と同じ意味と捉えているが、読み手に伝わりづらいとする。</p>	<p>【基本政策 1 の内容を修正③】 基本政策 1 では、一人一人が自分を大切にしながら、互いを理解して、共に支え合う社会づくりを推進することを掲げております。 頂いた御意見のとおり、4 段落目の「その人らしく」は「自分らしく」と同じ意味で使用していますので、1 段落目の「自分」という文言に合わせて「自分らしく」という文言に修正したいと考えております。</p>
<p>【意見④】 施策領域は、子育て支援や高齢者福祉、生活困窮者支援等、多岐にわたり、統一性のないものに見えるが、これらのつながりが見えるようにする必要があると考える。</p>	<p>【基本計画に図を示すことで対応】 基本政策 1 では、一人一人が自分を大切にしながら、互いを理解して、共に支え合う社会づくりを推進することを掲げております。 基本政策 1 の説明文は、「地域福祉」を福祉健康分野の基礎とし、子育て世代、高齢者、障がい者などそれぞれの暮らしの面で支援が必要な方への取組の充実を図るとともに、社会保障制度の適正な運用を推進するという趣旨で文章を組み立てています。 また、基本政策 1 の施策領域は、現在市が福祉健康分野として取り組んでいる個々の施策を示したものです。これらの施策の関連性を分かりやすくするため、基本計画の「地域福祉」の項目において、地域福祉が各施策を横断する分野であることが分かる図を示すなどして対応したいと考えております。</p>
<p>【意見⑤】 この施策領域の中で示される「健康」や「地域福祉」が基礎となり、その上で、高齢者福祉や子育て支援という個別の取組が実施されるような構造に整理してはどうか。</p>	<p>【将来都市像や基本方向を整理する中で検討】 頂いた御意見は、基本政策 1 の福祉健康分野だけではなく、全ての政策分野に必要な観点であることから、将来都市像や基本方向を最終的に整理する中で、改めて検討させていただきたいと考えております。</p>
<p>【意見⑥】 少子高齢化が進行する中で持続可能なまちとなるためには、まちの構造を変えていかなくてはならないとするが、情勢やニーズを踏まえ、新しいネットワークを作り、市民が満足して生活できるようなまちであることが必要である。このようなまちをどのように作るかについては、基本政策 1 に限らず、全ての政策分野に必要な観点であるとする。 また、物資的には豊かで便利になっていると認識しているが、幸せを感じる事ができているか等、本質を考えなくてはならない。</p>	<p>【基本計画等の策定に当たっての参考】 頂いた御意見は、基本構想ではなく、基本計画等の策定に当たって参考とさせていただきます。</p>
<p>【意見⑦】 基本政策 1 の「誰もが幸せを感じるまち」という文言が様々な意味を包含しているとする。同様の言葉としてクアオルト（ドイツ語：療養地）という言葉が広まっているが、日本においても地域を上げての健康づくりを目指す日本型クアオルトに取り組んでいる自治体があり、桃源郷のような「幸せを感じるまち」を作る取組として、高齢者に向けて健康維持に効果的なウォーキング・散歩や温泉を活用した運動などを推進している。歩くことは運動になると同時に脳にも良いが、新座市は車が多く歩きづらい道が多いため、歩きやすい場所を作る必要があるとする。 また、健康でいるためには、農業も重要な要素の一つであるとする。練馬区は市民農業が盛んなまちになっているが、新座市も都市農業に積極的に取り組んでいるものと考えられる。そういった部分を推進することも、幸せを感じるまちに近づくのではないかと考える。</p>	<p>【基本計画等の策定に当たっての参考】 頂いた御意見は、基本構想ではなく、基本計画等の策定に当たって参考とさせていただきます。</p>
<p>【意見⑧】 市内でのウォーキングについては、ウォーキングマップの作成や歩道に鉄腕アトムの路面シールを貼り、市内の見どころを回りながらウォーキングができる環境づくりも行っているとするので活用してほしい。</p>	<p>【基本計画等の策定に当たっての参考】 頂いた御意見は、基本構想ではなく、基本計画等の策定に当たって参考とさせていただきます。</p>

諮問した素案
<p>基本政策 1 誰もが幸せを感じるまち【福祉健康】 未来の新座市を、誰もが幸せを感じて暮らすことができるまちにするためには、一人一人が自分を大切にしながら、互いを理解して、共に支え合う社会づくりを進めていくことが大切です。 このため、いつまでも住み慣れた場所において健康で安心して暮らすことができるよう、地域で互いに協力して支え合うための仕組みづくりを推進します。 また、安心して子どもを産み、成長の喜びを実感しながら子育てができる環境の整備や支援の充実のための取組を推進します。 さらに、誰もが生涯にわたってその人らしくいられるよう、それぞれに適した支援の充実を図るとともに、社会保障制度の適正な運用を推進します。</p> <p style="text-align: center;">【意見②】 を踏まえ削除</p> <p>【基本政策推進のための施策領域】 ○子育て支援 ○高齢者福祉 ○障がい者福祉 ○生活困窮者支援 ○健康づくり・保健衛生 ○国民健康保険 ○地域福祉</p>

事務局による修正案
<p>基本政策 1 みんなに優しく誰もが幸せを感じるまち【福祉健康】 未来の新座市を、誰もが幸せを感じて暮らすことができるまちにするためには、一人一人が自分を大切にしながら、互いを理解して、共に支え合う社会づくりを進めていくことが大切です。 このため、いつまでも住み慣れた場所で安心して暮らすことができるよう、地域で互いに協力して支え合うための仕組みづくりを推進します。 また、安心して子どもを産み、成長の喜びを実感しながら子育てができる環境の整備や支援の充実のための取組を推進します。 さらに、誰もが生涯にわたっていきいきと自分らしくいられるよう、それぞれに適した支援の充実を図るとともに、社会保障制度の適正な運用を推進します。</p> <p style="text-align: center;">【意見①】 を踏まえ修正</p> <p style="text-align: center;">【意見③】 を踏まえ修正</p> <p style="text-align: center;">【意見②】 を踏まえ修正</p> <p>【基本政策推進のための施策領域】 ○子育て支援 ○高齢者福祉 ○障がい者福祉 ○生活困窮者支援 ○健康づくり・保健衛生 ○国民健康保険 ○地域福祉</p>

]